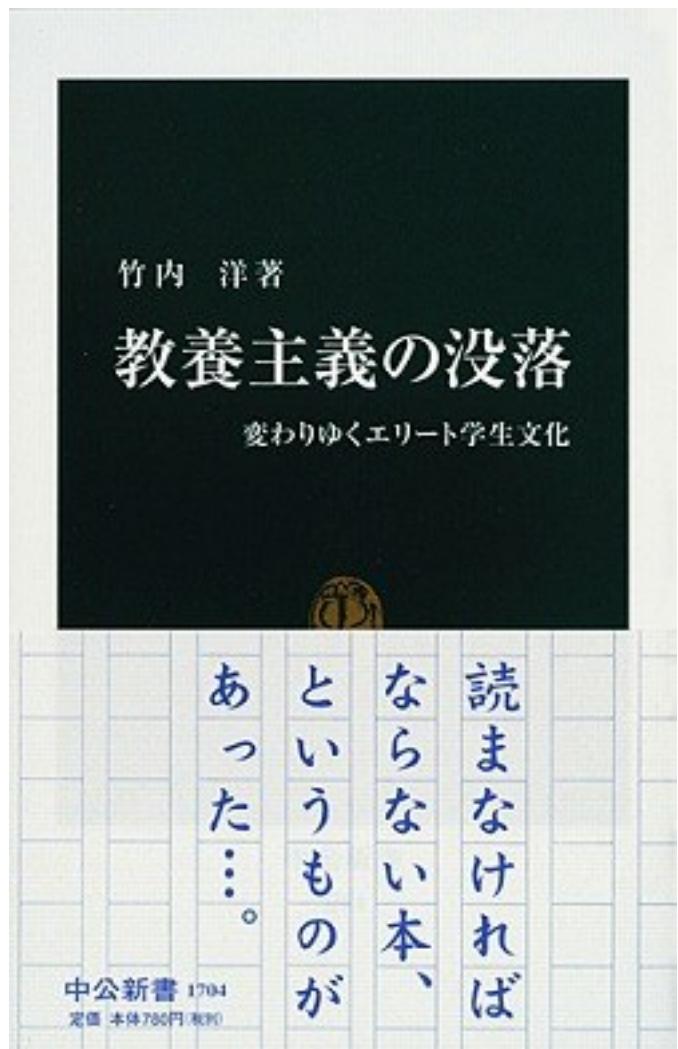


教養主義の没落



[教養主義の没落_下载链接1](#)

著者:竹内 洋

出版者:中央公論新社

出版时间:2003-7-25

装帧:新書判

isbn:9784121017048

一九七〇年前後まで、教養主義はキャンパスの規範文化であった。それは、そのまま社会人になったあとまで、常識としてゆきわたっていた。人格形成や社会改良のための読書による教養主義は、なぜ学生たちを魅了したのだろうか。本書は、大正時代の旧制高校を発祥地として、その後の半世紀間、日本の大学に君臨した教養主義と教養主義者の輝ける実態と、その後の没落過程に光を当てる試みである。

作者介绍:

目录:

[教養主義の没落_下载链接1](#)

标签

日本

社会学

日文

竹内洋

日本史

教育社会学

教养主义

思想

评论

有趣的点是指出战前教养主义的乡土性：用昭和帝大各学部的生活调查数据跟法国高等师范学校的数据对比，不同于法国上流阶层为中心的教养主义，文学部作为战前教养主

义再生产的运营手，学生中凤凰男最多；教养主义是凤凰男的文化策略---获得社会上升的手段，同时用以对抗中产阶级的轻浮文化。

对教养“主义”作为一种主义（中产阶级的文化霸权）的批判和对“教养”主义教养的怀旧情怀很有趣地结合在一起。

[教養主義の没落](#) [下载链接1](#)

书评

[教養主義の没落](#) [下载链接1](#)